

平成 2 2 年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ネギ、ナガイモ、その他野菜類・シロイチモジヨトウ（No. 1）

平成 2 2 年 9 月 3 日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

県内全域でシロイチモジヨトウの発生量が増えています。今後、被害の増加が予想されますので、防除の徹底をお願いします。

2 情報の根拠

- (1) 現地ネギほ場に設置したフェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数は、8 月第 6 半旬現在、鳥取市国府町で 6 2 頭（平年：3 1 頭） 米子市夜見町で 1 0 5 頭（平年：3 7 頭）と、平年に比べ多くなっている（表 1 ）
- (2) 県中部のナガイモほ場、県西部のネギほ場において、シロイチモジヨトウ幼虫による葉の食害が散見されている。また、県中部では、ラッキョウやサツマイモ等においても本種による被害が認められている。
- (3) 向こう 1 か月の気象予報から、シロイチモジヨトウの発生量はさらに増えると予想される。

3 防除上注意すべき事項

- (1) ネギではフェニックス顆粒水和剤 2 , 0 0 0 倍液、プレオフロアブル 1 , 0 0 0 倍液、スピノエース顆粒水和剤 5 , 0 0 0 倍液などを散布する。ナガイモではデルフィン顆粒水和剤 1 , 0 0 0 倍液を散布する。
- (2) ネギでは、幼虫が筒状の葉身に食入した後では防除効果が低下するので初期防除に努める。
- (3) ナガイモでは、茎葉が繁茂しているので、散布むらのないよう丁寧に散布する。

表 1 ネギほ場におけるフェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数

月	半旬	鳥取市国府町		米子市夜見町	
		H22	平年値	H22	平年値
7 月	1	6 頭	6 頭	40 頭	7 頭
	2	5	7	30	7
	3	4	13	19	7
	4	5	11	1	7
	5	3	8	20	6
	6	18	17	72	11
8 月	1	26	11	100	28
	2	24	12	114	24
	3	12	12	67	18
	4	17	16	95	17
	5	29	28	155	32
	6	62	31	105	37

平年値は平成 1 7 ～ 2 1 年までの誘殺数の平均。